

臨床研究に関するお知らせ（☄）

【研究課題名】

の経静脈投与による血管痛に対する NSAID および医療用麻薬による予防効果の調査

【内容】

ジェムザールは、肺癌、乳癌、膵臓癌の治療に使われるお薬ですが、ジェムザールの特徴的な副作用として、点滴している時に血管が痛くなる（血管痛）ことが知られています。ジェムザールの投与中になぜ血管痛が起きるのかは明らかになっていませんが、同じような血管痛が起きるブロポフォルというお薬では、痛みどめに使われるインドメタシンを投与することで血管痛が軽減されるということが、これまでの研究で発表されています。そこで、ジェムザールが投与された患者さんのうち、痛みどめのお薬を服用している患者さんで、ジェムザールによる血管痛が予防されているかどうかを調べる研究を行います。

【対象】

2006年4月から2011年3月の期間中に、当院でジェムザールを投与された方が対象となります。

【方法】

カルテ情報の調査を行い、ジェムザールの投与中に痛みがあったかどうかを調査します。また、血管痛を起こしやすい因子の解析も一緒に行います。

この調査の対象となる方にご協力いただけるかどうかは自由意思です。もし、お断りになられたとしても、治療などの点においてあなたの不利益になるようなことはありません。

調査の対象となっている方で、この研究への参加を希望されない場合には、2011年9月30日までに金沢大学附属病院薬剤部 崔（さい）までお知らせください。また、抗がん剤の治療経験があるけれど、ジェムザールを投与されたかを覚えていない方で研究への参加を希望されない方もお知らせください。

2011年4月

金沢大学附属病院薬剤部

研究実施責任者 崔 吉道

電話 076-265-2046（直通）